



# 神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2010-2011年度 R I 会長 レイ・クリンギンスミス



地域を育み、大陸をつなぐ

2010-2011年度 第2590地区ガバナー 川野 正久

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| ● 会長 横山 範夫      | ● 会長エレクト 加藤 仁昭  |
| ● 副会長 渡邊 淳之     | ● 副会長 月山 勇      |
| ● 幹事 飯田 泰之      | ● 副幹事 天野 公史     |
| ● 会計 朝日 達夫      | ● 副会計 田口 健太郎    |
| ● S A A 伊澤 政宏   | ● 副 S A A 小池 将夫 |
| ● 副 S A A 山本 芳弘 | ● クラブ会報 金森 欣一   |

●クラブテーマ「コミュニケーション」●



- 事務局 ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3  
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555
- 例会日 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)
- 例会場 ホテルキャメロットジャパン 創立記念日 昭和 51 年 5 月 29 日
- URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
- E-mail [kerc@beach.ocn.ne.jp](mailto:kerc@beach.ocn.ne.jp)

2010-2011年度 第32号週報 No. 1686 2011年(平成23年) 3月4日 第1686回例会記録 3月11日発行

司会 天野 公史 副幹事

誕生日祝 西山 潔 会員 (3月4日)

点鐘 横山 範夫 会長

斉唱 「君が代」 「奉仕の理想」

四つのテスト 江森 国一 職業奉仕委員長  
(第1例会のみ)

## ゲスト紹介

喜多 迅鷹 様 (ゲストスピーカー)  
岡本 恭一 様 (日本ボーイスカウト神奈川連盟)  
2010学年度米山奨学生 曹 莹 様

ビジター紹介 川崎RC 堀内 愛元 様  
横浜中RC 関口 一洋 様



## 本日〈3月11日〉のプログラム

- ◆ 斉唱 「我等の生業」
- ◆ 献立 サーモンのムニエル
- ◆ 卓話 テーマ「世界三大珍獣」

環境省中央環境審議会 専門委員 大矢 秀臣 様  
(紹介者 小池 将夫 会員)

## 特別行事

米山奨学金贈呈 曹 莹 様



皆様、こんにちは。

時間が経つのは、早いものですね。先日博士前期課程が良い成績で卒業出来まして、3月24日に卒業式が行われます。早くも米山奨学生の終了に向かって来ました。

2年間の米山奨学生は、多彩で充実した時間でした。そして、米山奨学会を通じてたくさんの方と出会い、たくさんのロータリアンの方にお世話になりました。さらに、米山奨学会と世話クラブである神奈川東ロータリークラブの方々から、きっと人生の中で貴重な財産になり、今後人生に影響し続けるものを頂きました。それは、ロータリーに対する熱意、留学生に与える関心、社会に貢献する精神です。

この2年間、神奈川東ロータリークラブの皆様からたくさんのお声援や関心を頂きました。特に横山さんには大変お世話になりました。

皆様がお父さん、お母さんのように、暖かく見守って下さったからこそ、今の私があります。本当に感謝の気持ちで胸がいっぱいです。もうすぐ皆様と離れて行くと思うと、悲しくてしょうがないです。

ですので、奨学生でなくなっても、米山奨学会や神奈川東ロータリークラブと何らかの形でつなげて行こうと思っています。

これからもよろしくお願い致します。

日本ボーイスカウト神奈川連盟へ寄付金贈呈



横浜第19団委員長 岡本 恭一 様

## 会長報告 横山 範夫 会長

・地区より2011-12年度RYLA委員の委嘱状が山田正憲会員宛てに届いておりますのでご報告申し上げます。

## 幹事報告 飯田 泰之 幹事

・明日、第4・第5 G INTERCITY MEETING が新横浜プリンスホテルにて開催されます。

登録開始 13時 開会 14時

- ・次週、例会終了後に3月度定例理事会を開催致します。
- ・ニュージーランド地震災害義援金の協力依頼が地区より来ております。後日、会員の皆様にご協力をお願い致しますのでよろしくお願い致します。

## ◎例会変更のお知らせ

\* 神奈川ロータリークラブ

平成23年4月11日(月) 休会

5月2日(月) 休会

\* 横浜西ロータリークラブ

平成23年3月30日(水) 休会

\* 横浜都筑ロータリークラブ

平成23年3月30日(水) 移動夜間例会「観桜会」

\* 横浜港北ロータリークラブ

平成23年3月31日(木) 移動夜間例会「観桜会」

\* 横浜鶴見西ロータリークラブ

平成23年3月30日(水) 移動夜間例会

4月20日(水) 創立35周年記念例会

\* 横浜北ロータリークラブ

平成23年3月22日(火) 移動夜間例会「夜桜会」

4月5日(火)⇒8日(金) 「創立31周年記念例会」

\* 新横浜ロータリークラブ

平成23年3月25日(金) 夜間例会

\* 横浜保土ヶ谷ロータリークラブ

平成23年3月29日(火) 休会

## 委員会報告

R情報委員会 委員長 田口健太郎

### ■ロータリー財団寄付の税制上の優遇措置等についてのご案内

2010年12月24日、ロータリー日本財団が公益財団法人に認定されました。これにより、2011年4月1日から個人・法人の年次寄付・ポリオ等への寄付金につきまして税制上の優遇措置が受けられるようになりましたので、お知らせ致します。

また、恒久基金寄付につきましては現在調査中の為、あらためてお知らせ致します。

なお、詳細につきましては、「ロータリーの友」3月号のP.40をご参照下さい。

#### 雑誌委員会 委員長 茂木 知子

##### 『ロータリーの友』2011年3月号

今月のspeechの「子宮頸がん HPVワクチン 日本の今」は日本の将来を考えさせられるお話です。

子宮頸がんワクチンが発売された時、私が心配だから高くてもワクチンを打っておこうかしらとつぶやいたら、スタッフに「知子先生はもう大丈夫ですよ」と言われました。

私はまだ子宮も存在しているのに何と失礼なと思いましたが、この雑誌を読んで、あながち間違いではないと思いました。いくら頑張っても出産は出来ないからです。

この寄稿には、子宮頸がんワクチンの必要性から、子宮頸ガンを発症して出産が出来なくなることによる経済損失から、クラミジア、エイズなどの性感染症、性教育のありかたなどなど広範囲にわたり平易に書かれており、非常に読み応えのあるものと思われま

す。性感染症は超越したと思っている男性会員も安心出来ません。エイズなどの増加が将来の日本の年金に大きく関係してきます。エイズは現在、感染の如何にかかわらず全額国庫補助であり、一人あたり年間約250万円、一生涯2億円ほどかかり、エイズの増加が国民の負担を増加させると示唆しています。

私も感染理由の如何にかかわらず全額国庫補助ということに非常に危惧を感じました。経営者という立場から、健康保険の負担を感じられている会員も多いと思います。理由の如何にかかわらず全額国庫補助という現実を20代、30代のスタッフに聞きました。全員知りません。また、給料天引きというせいか、あまり危機感がないように思われました。再認識すべき問題と思われま

す。ぜひ、お読み下さい。また、医療関係の会員の方などにご意見を伺いたいと思っております。よろしくお願い致します。

#### 国際奉仕委員会 委員長 高田 修

以下の3点、ご報告させていただきます。

①本日、4月の台北滬尾RCへの訪問のアンケートに出席希望と書いて頂いた会員に申込書をお渡ししました。アンケートに答えていない方で出席したいという会員の方は私に申し出て下さい。白紙の申込書をお渡し致します。

②①に申し込んで頂いた方の日程及びオプションツアーの説明会を4月1日(金)例会終了後の午後1時40分より例会場隣のフェアウィンドⅢにて開催します。参加費1人500円でご夫人同伴のお茶を飲みながらの説明会になります。Faxにてお申込み下さい。

③3月10日(木)午後7時00分から開始の台北滬尾RCの歓迎会と11日(金)午後6時半から開始の『台北滬尾RC&マレーシア・ルーヤンRC』歓迎会を企画しました。11日の方はまだ出席可能人数に達していないので、奮ってご参加下さい。

#### スマイルボックス 伊澤 政宏 SAA

川崎RC 堀内愛元様 久しぶりにお邪魔致します。飯田幹事、よろしく。

横浜中RC 関口一洋様 お世話になります。

西山 潔君 お誕生日祝い、ありがとうございます。53歳になりました。花粉症で苦しんでいます。

横山範夫君 ①喜多先生、卓話よろしくお願い致します。②曹さん、卒業おめでとうありがとうございます。③ボーイスカウト横浜第19団への寄付、ありがとうございます。

富居利貞君 ご無沙汰してます。

山本 登君 明日のIM、当方主催の学会と重なり、欠席致します。ご容赦下さい。

河野明光君 喜多先生、本日の卓話、楽しみに致しておりました。よろしくお願い致します。

飯田泰之君 川崎RCの堀内様、ようこそいらっしゃいました。ゆっくりお過ごし下さい。

我妻隆邦君 本日の卓話者、喜多迅鷹先生をご紹介します。私の高校(50年前)の恩師です。

山田正憲君 ①伊澤さん、先日はお世話になりました。②佐藤さん、昨日は助かりました。ありがとうございます。

脇田いずゞさん 関口さん、ようこそいらっしゃいました。ごゆっくりお過ごし下さい。

茂木知子さん 「パパはモデル」のポーランド人一家、片言の英語、日本語理解不能の言語、オーバーアクション。当方は片言の英語と難解な日本語。どうやってコミュニケーションをとるのでしょうか?一家が出現すると私と受付を残してスタッフは姿を消します。

友添辰哉君 関口さん、ようこそおいで下さいました。みうら会共々よろしくお願い致します

伊澤政宏君 先週は2週休ませて頂きました。2月22日の誕生日祝い、ありがとうございます。

3月4日	14件	33,000円
本年度累計		1,542,100円

#### 出席報告

森永 健 委員長

会員総数	55名	(40+15)名	
出席会員数	46名	(34+12)名	
出席率	88.46%		
ゲスト	3名	ビジター	2名
前回補正後	86.00%	前々回補正後	96.08%

## 「汝自身を知れ」

画家 喜多 迅鷹 様  
 (紹介者 我妻 隆邦 会員)



## 《野毛の山からノーエ》

実は私は、学生時代、「民法の神様」と言われていた我妻栄先生に民法を教わったのですが、推薦者の私の高校教師時代の教え子我妻隆邦君（いまだに君呼ばわり）が民法の権威であることは長い間知りませんでした。彼も我妻を名乗っている限り、やがて「民法の神様」になるのではないかと期待されます。――そんなことを言っている余裕はないので、早速本題へ。

私が横浜をスケッチするようになってから、もう20年ほどになりますが、その当初の頃、横浜をちょっと調べて一番驚いたのが、お配りした資料の一番上にある、この1860年代にフェリックス・ベアトが撮影した横浜の街の写真です。真ん中に木製の吉田橋。その向こうは陸地で遠くに山手が見えますが、橋の両側はなんと、一面に水浸しではありませんか。そうなんです。江戸初期から江戸材木商の吉田勘兵衛さんなどが苦心惨憺干拓を進めてきたわけですが、開港当時はまだこの辺りは沼地。外国居留民の方からもここを早く埋めてくれと要求され、幕府も躍起となって埋め立てて行く。というわけで明治初年になるとこの辺がすべて街になり、吉田町、太田町でもよかったです。福富、末広、羽衣、蓬莱、万代、不老、扇、翁、寿、長者・・・、とどしどしおめでたい名前（瑞祥地名）を付けていったのですね。

2、3年前、朝日新聞の歌壇で住所欄が「ホームレス」というので話題になった人の歌に「悲しきは寿町という地名 長者町さえ隣りにはあり」という哀感を漂わせた歌がありましたが・・・この写真は野毛山の今の中央図書館辺りから撮ったようですが、その頃はその辺からでも横浜の街がよく見えたのでしょね。今は野毛山公園の展望台のところからでもよく見えないことは、私の1996年のスケッチに見るとおりです（資料の左下）。

というわけで、ここで「野毛山節」を一つ聞いてみて下さい。  
 「野毛の山からノーエ 野毛の山からノーエ 野毛のサイサイ 山から異人館を見ればお鉄砲かついでノーエ お鉄砲かついでノーエ

お鉄砲サイサイ かついで小隊進め オッピキヒャラリコノーエ  
 オッピキヒャラリコノーエ オッピキサイサイ ヒャラリコ小隊進め」

資料の右下に「横浜高台英役館之図」という横浜錦絵があります。これは今の山手の「港の見える丘公園」のところにある「横浜市イギリス館」辺りの情景で、赤い制服のイギリス兵がお鉄砲かついで行進している図です。「オッピキヒャラリコ」などとのんきに歌など歌っている場合ではなかったわけで、当時は尊皇攘夷と開国和親が入り乱れ、生麦事件を始め外国人に対するテロが頻発、そんな情勢に対して当時の日本政府（江戸幕府）は一つの町の治安維持さえ出来ないほど弱体化しており、たまりかねた英仏両国は幕府に要求して、居留民保護の為、自国軍を横浜に派遣、駐留させたということでした（フランス軍は青い制服でフランス山）。

少し時代をさかのぼると、今では想像もつかない横浜の一日本の姿があるわけです。それを知ることは、単に横浜を知ることではなく、実は横浜を一日本を環境として生きている自分自身を知ることになりません。

演題に「汝自身を知れ」という大仰な言葉を持ってきた真意も、ただそんなことが言いたかっただけのことでした。

ご静聴ありがとうございました。

## 【画家 喜多迅鷹様 の作品介绍】



「山下公園前の水川丸」



「日本大通風景」

2010-11年度 国際ロータリー-2590地区  
第4・第5グループ  
INTERCITY MEETING

【開催日】 2011年3月5日(土)  
【会場】 新横浜プリンスホテル



第4・第5グループ IM実行委員会 大野肅英委員長 挨拶



社会奉仕活動パネル展示

『神奈川県民まつりにおけるチャリティー募金』



懇親会(川野ガバナーと記念撮影)

2010-11年度 11月～2月  
テーブルミーティング報告

テーマ「ロータリーの奉仕活動について」

【第1テーブルミーティング】

平成22年11月19日(金) 「和膳 結」にて  
テーブルマスター 植田清司 サブマスター 朝日達夫

- ロータリー活動の基本は、「親睦と奉仕」  
親睦のギヤが廻れば奉仕のギヤが廻る、さらにそれらが広く世間にアピールされ、会員増強に繋がる。これらがロータリーの好循環と言えるのではないかと。
- 奉仕は目的ではなく、それよりむしろ自己を研鑽することに意義があるのではないかと。
- 自分の身近なところから、自分達の出来る事を行動してみる。実際、今自分の会社周辺を毎朝、清掃している。これらのことは、地元を通じて社会奉仕ということになるのでは。
- 今年、区民まつりを通じて反町公園で「スリランカに井戸を贈ろう」の募金活動は、遠く京都から同志社女子大、京都光華女子大の学生達ボランティアの応援も得られ、たいへん盛り上がった活動が出来た。地域の皆様に、我々のロータリー活動を広くアピール出来たと思う。

など、多くの意見が出て、たいへん有意義に、また、和やかにミーティングが行われました。

【第2テーブルミーティング】

平成23年1月14日(金) 「キッチンフライペン」にて  
テーブルマスター 脇田いすゞ サブマスター 長井 章

平成23年1月14日午後6時から新年会を兼ねて、第2テーブルミーティングが関内のフライペンというレストランにて開催されました。

参加人数は会長、幹事を含め17名が出席されました。

昨年末にご逝去された古川会員を偲んでの献杯から始まり、故人とクラブの関わりや奉仕活動に関しての思い出話が花が咲き、悲しみの中にも盛会のうちに9時過ぎに無事終了致しました。

【第3テーブルミーティング】

平成23年1月28日(金) 「Bistro 横浜風我亭」にて  
テーブルマスター 小山市康 サブマスター 田口健太郎

会長から挨拶を頂き、今回のテーマに沿っての意見交換を18名の会員の方々と行い、会食を楽しみました。

最初にPPの方や会長エレクトに発言を求め、他会員の方々からも順次意見を頂きました。

本日昼間の例会が「故 古川会員を偲んで・・・」だったこともあり、古川会員がロータリークラブ会員として奉仕活動に専念されていた時に活躍された話題が上り、悔みの話も多々ありました。

全体意見を簡略的に取り纏めますと、ロータリークラブの精神から、「最も奉仕する者は、最も救われる」ものである。

またある会社の雑誌にある財界の「〇〇倶楽部」の特集に、本来のクラブは倶楽部という漢字が意味するように楽しむ意味合いを持っているものでもあったと内容が出ていた。しかしながら、ロータリークラブは楽しむだけでは駄目で、奉仕の目的で汗を流すことに本来の意味があり、そこに感動が生まれるものである。そのことをロータリークラブは教えてくれている。

また、会員皆で計画し、ロータリークラブ活動を通して大きく成長させることが必要ではないだろうか。

五大奉仕全てが大切なことではあるが、先ずは一番身近なクラブ奉仕というものを大事にし、クラブをより強化して行くことがクラブの増強になり、自然と他の奉仕にも繋がって発展して行くものと思われる。

等々話題が発展していきました。

以上、たいへん有意義なテーブルミーティングでありました。

参加頂いたテーブルメンバーの皆さま、大変有難うございました。

## ロータリーニュース

### ロータリアンがハイチのゴナーブ島に医療支援を提供

米国ニューヨークとハイチのポルトープランス・ロータリー・クラブのロータリアンからなるチームが、去る2月、ハイチのゴナーブ島にある村の人々に医療を提供したほか、村の診療所に18の太陽光パネルや、給水ポンプを設置しました。

第7260地区（ニューヨーク）のジョージ・ソロモン元地区ガバナーにより実施されたこの4日間のプロジェクトは、ロータリー財団のマッチング・グラントから資金の一部が提供されました。

「プロジェクトに参加した全員が、それぞれの専門分野の知識を提供してくれました。適材適所、それがロータリーの基本です。必要としている人々に、短期的・長期的な支援を提供することが私たちの目標です」と語るソロモン氏は、2007年以来、8回も現地を訪れています。

2010年のハイチ大地震の後、ゴナーブ島は、壊滅的被害を受けた首都ポルトープランスから逃れて来た人々であふれかえりました。人口10万人のゴナーブ島に、3万人以上の避難民が押し寄せ、そもそも限りのある資源に影響を与えました。

ブレントウッド・ロータリー・クラブ（ニューヨーク）から参加した太陽エネルギー・エンジニアのクリストファー・カストロさんは、「太陽エネルギーは再生可能でクリーン、そして無料です。今回のプロジェクトでは太陽光パネルを設置しただけでなく、再生可能なエネルギーについての職業訓練を提供することも出来ました」と話します。村人は、発電機をディーゼル燃料から太陽エネルギーに変換することで、環境保護に貢献出来るだけでなく、コスト削減も実現出来るそうです。

### 緊急治療も提供

プロジェクトの第1日目、診療所を開けた後に、顔からひどい出血をした12歳の息子をつれた母親が訪ねてきました。2名のロータリアン看護師とボランティアの医師が治療にあたりましたが、麻酔薬が不足していたため、少年の深刻な上唇の傷口を縫い合わせる事が出来ませんでした。そこで、このハイチ系アメリカ人の医師は、持ち合わせていた瞬間接着剤を使用したところ、翌日、少年の上唇はうまく塞がっていました。

アーノルド・クアラタ・ジュニア地区ガバナーは、「私たちが今日ここにいなければどうなっていたと思いますか。あの少年の顔には一生傷が残ったでしょう。この診療所では1日70名ほどを治療しますが、ほとんどの人が開始時間前から外で待っているのです」と語りました。

同チームは、持参した医療品を使用し、高血圧、胃、皮膚感染やその他さまざまな疾患の治療にあたりました。クアラタ氏は、今回のプロジェクトは、国際ロータリー2011年度テーマである「地域を育み、大陸をつなぐ」を反映するものだと述べました。

「現地の人々の目には、ロータリアンが彼らの地域社会の再建を支援していると映っているようです。ハイチの人々の支援もあり、私たちは、若い世代の為にこの島をより良い場所にする為、アメリカとハイチの2国をつないでいるのです」

記事： Ryan Hyland

国際ロータリー・ニュース

### 3月度定例理事会議案

日時 平成23年3月11日（金） 例会終了後  
会場 ホテルキャメロットジャパン 3階 ナイト

#### 議題

##### 【報告事項】

- (1) 台北滬尾RC来日表敬訪問の件
- (2) 青少年育成協会広告掲載の件
- (3) その他

##### 【審議事項】

- (1) ニューゼaland地震災害義援金支出の件
- (2) 仏教伝道協会 表彰式出席の件
- (3) スリランカへの丸八毛布輸送費の件
- (4) その他

#### 【表紙の写真について】

先週の卓話者、喜多迅鷹様の絵画「山手イギリス館バラ園」です。

#### 次週《3月18日》の卓話予定

テーマ「横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校の  
チャレンジについて」  
横浜サイエンスフロンティア高等学校 校長代理 宮崎 健 様  
(紹介者 石川 正三 会員)